

③ 重要文化財 免ヶ平古墳出土品 ～古墳時代～



畿内色豊かな多くの出土品

出土地：免ヶ平古墳（大分県宇佐市）
時代：古墳時代前期
所蔵：大分県立歴史博物館

免ヶ平古墳は、4世紀後半の墳長約50mの前方後円墳であり、埋葬施設として後円部にたてあなしきせきしつ 竪穴式石室・はこしきせつかん 箱式石棺があります。

竪穴式石室から2面の銅鏡（さんかく縁三神三獣鏡・しゃえんにしんにじゅうきょう 斜縁二神二獣鏡）、豊富な鉄製武器・農耕具およびへきぎょく 碧玉製石釧、いしくしろ ヒスイ製勾玉等、畿内政権との関係を強く窺わせる資料が出土しました。

箱式石棺には、30～40代の女性人骨1体と、斜縁二神二獣鏡、石釧、玉類、刀子が納められていました。いずれも原位置を留めており、被葬者の性格や埋葬状態、葬送儀礼の実態を見ることができます。

免ヶ平古墳の出土品は、古墳時代前期における九州の前方後円墳の副葬品一括として重要なものです。現在、古墳一帯は、宇佐風土記の丘として整備されています。